

R4 学校自己評価アンケートの集計(南校地)

肯定回答の状況・・・左側の横棒グラフは全回答、右側の横棒グラフはE(わからない,判断できない)回答を除く

1 校地間、学科間、学校と地域や家庭の連携・協働をふまえた効率的な教育活動の推進

1. 市内小中学校や新見公立大学、官公庁・各種団体など広く連携を深め教育活動を行う。

	50%	100%		50%	100%
1. 生徒	61.2%		74.2%		
2. 保護者	70.5%		81.6%		
3. 教職員	88%		88%		
2. 普通科生徒用の『進路指導の手引き』を活用し、主体的に行動できる生徒の育成を図り、家庭への情報提供や連携を推進する。	50%	100%	50%	100%	
1. 生徒	72.7%		80.9%		
2. 保護者	65.6%		73.6%		
3. 教職員	92%		100%		

2 知識・技能の確実な習得と、思考力・判断力・表現力等を育む効果的な教科指導の工夫

3. 「iPad(1, 2年次生一人一台端末)」、「Google Workspace for Education」、「ICT 機器」の有効な活用方法を研究し、それらを活用した効果的な指導を行う。

	50%	100%		50%	100%
1. 生徒	72.2%		85.1%		
2. 保護者	69.9%		83.7%		
3. 教職員	100%		100%		
4. 教科の様々な取組や小論文、ディベート、プレゼンなどの年次団の取組を通して思考力、判断力、表現力等の総合的な学力を高める。	50%	100%	50%	100%	
1. 生徒	90.4%		91.8%		
2. 保護者	71.5%		84%		
3. 教職員	96%		100%		

3 主体的に社会に貢献しようとする使命感と実力を兼ね備えた生徒の育成

5. 主権者教育を中心として主体的に社会に貢献する力を育て、進路実現できる力を身につけさせる。

	50%	100%		50%	100%
1. 生徒	85.3%		89.4%		
2. 保護者	67.8%		80.5%		
3. 教職員	100%		100%		
6. 生徒会・各種委員会の学校生活改善に向けた啓発活動を通して社会に貢献できる力を育成する。	50%	100%	50%	100%	
1. 生徒	75.7%		83.8%		
2. 保護者	69.9%		80%		
3. 教職員	84%		91.3%		

4 本校教育活動とその魅力を内外に伝える広報の展開

7. 校内外の活動(新高祭、球技大会等の学校行事、学習支援ボランティア、中学校への出前授業)などを継続発展し、本校教育活動の魅力増進を図る。

	50%	100%		50%	100%
1. 生徒	84.4%		87%		
2. 保護者	74.3%		78.6%		
3. 教職員	92%		95.9%		
8. ホームページや学校案内、報道機関などを通して、日頃の教育活動や教育方針が正しく伝わる広報活動を行う。	50%	100%	50%	100%	
1. 生徒	68.7%		76.8%		
2. 保護者	61.8%		70.6%		
3. 教職員	88%		95.7%		

5 その他の項目

9. 新見高校各校地の「いじめ問題対策基本方針」に基づき適切な対応をしている。

	50%	100%		50%	100%
1. 生徒	67.2%		88.7%		
2. 保護者	44.3%		69.8%		
3. 教職員	100%		100%		